



SFS通信

平成25年7月16日発行(2013)

日本ボーイスカウト新潟連盟
スカウトフェローシップ委員会

編集長 杉山 剛

〒959-2658胎内市西条602-11

TEL & FAX 0254-43-4879

事務局 〒951-8052 新潟市中央区下大川前通4の町

TEL 025-229-5454 FAX 025-229-5446

新潟連盟 平成25年度年次総会(6月2日上越市高陽荘)

井上理事長挨拶:スカウト数は減少しているが、「良き市民を育てる」という我々が取り組んでいる運動の価値が低下したのではない。良き市民とは、己を確立し他を思いやる心をもつ大人である。この運動にかけられた熱い思いを引き継いでいかねばならない。

平成25年度事業方針

事業スローガン:

スカウト運動の基本に基づいて、より良いスカウトを育てよう! ~まずは班制度の徹底! ~

具体的な項目:例年通りだが、活動の原点である各団での真剣な取り組みが求められている。当面の旗印は、ついに割った1000人の大台を回復することである。(5月時点で974名)

各運営委員会(抜粋):

指導者養成委員会からの情報提供:発展する組織の4要素は①ビジョン②ルールを見直す③システムをしっかりとする④メンバーのパフォーマンスを上げる。

進歩委員会:世界スカウト環境バッジの修得を推進する。

財政委員会:維持財団より 315万円を支援。昨年より100万円増額。

組織拡張委員会:好評であった昨年の広報講座に続き第2段を実施する。

事業予定(9月以降分):

理事会: 10月6日 第3回理事会(長岡四朗丸コメン) 1月19日 第4回理事会(新潟クロスパル)

WB研修所:10月12~14日 VS課程(五頭少年自然の家)

BS講習会:11月9日新潟 11月24日(中越)

安全セミナー:12月(未定)

指導者研修隊:スキルトレーニング(未定) 3月22・23日 救急法(大畑)

カブビーバーラリー:9月8日(上越高田公園)【風雲高田城 400年の城を守りぬけ!!】

16NJ特別委員会:

7月20日 コンテナ荷積み

7月27日 派遣隊個人装備トラック積み込み

7月28日 IST, 派遣団本部員出発

7月31日 派遣隊出発

8月8日 広島平和記念公園で平和の学習
(千羽朱鷺を納める)

8月8日 派遣隊帰着

8月9日 先遣隊帰着

8月17日 コンテナ荷降ろし

9月~11月 16NJ報告書作成



長岡第1団 カブ隊50年綏

第2回理事会報告(総会前に開かれた理事会の報告 抜粋)

制服が変わります。既に決定事項とのことです。詳細(スタイルや時期)については検討中ですが、23年間変更していなかった制服を変更するキーワードは、”スカウトから見たカッコよさ”のようです。BS～指導者の制服はツートンカラーに、またベレーからハットに復活する等、かなり大きな変化です。2015年WJへの参加者は新制服の着用が義務付けられます。新規購入を検討されている団は詳細を地区代表理事または事務局へお問い合わせください。

BVS・CS部門の上進時期の変更が検討されています。小学校の学年進級に合わせる方が都合よいので上進時期を該当年代の4月にしたい。

小学1年(ビーバー)	1月 ----- 仮入隊	4月 -----	3月
小学2年(ビッグビーバー)		4月 -----	1月 3月 ----- リスの道
小学3・4年(うさぎ・しか)		4月 -----	3月
小学5年(くま)		4月 -----	1月 3月 ----- 月の輪(新設)

CSのステップ章は完修章に変更されます。

上記いずれも、2015年からの適用となる予定です。各隊活動の活性化に役立てるための改正です。前向きに受け止めましょう。

本間県コミッショナー:1000人確保を目指し、①指導者の資質向上に努める②各団2名以上の会員増を願う。そのためにジャンボリーの機会を生かし、また友情バッジを活用する。

(友情バッジとは、平成11年に組織拡充顕彰バッジとして制定。スカウトがスカウトを勧誘した実績に応じて顕彰するもので、銅色・銀色・金色の三種ある)

SFS役員会報告(4月13日 長岡市阪之上コミセン)

24年度活動報告:

役員会:6月 1月

SFS通信発行:26号(7月)～29号(3月)

委員会総会:10月25日(下越 瀬波会場1泊)

PR活動:11月4日 中越地区 3月10日 下越地区



PR活動について:より効果的にするため以下の工夫をする。

- ①配布パンフレットは日連のものではなく、当該地区・団が作成したものを配布する。(弥彦での広報講座を生かしたい)
- ②一般参加が多い行事で行いたい。
- ③各団が魅力的なプログラムを実施されるよう、それぞれのルートを通して働きかける。
- ④ユニフォーム姿の露出頻度を増やしたい。
- ⑤ロコミが一番効果的。ロコミの材料提供をしているか?

<16NJ情報>

千羽ときプロジェクト

県内各団に参加いただいた折り紙のとき・・・たくさん集まりました。それを千羽ときの形にする作業をSFS通信29号で公募しました。応えていただいたのは佐渡1団・新潟16団・中条1団でした。お陰様で二千羽近くのときの連をもって、6月1日の派遣隊合同訓練の会場に参加することができました。会場では参加隊スカウトや父兄に更に折っていただき、千羽ときの連を二つ完成させることができました。その様子は地元テレビ「新潟一番サンデー」の中で放送していただきました。ご覧頂いたでしょうか？



トキキキになった杉山さん(新潟16)

16NJ会場で更に千羽の連を追加できるかどうか楽しみです。

トキ募金

佐渡第1・2団が2回の募金活動を行い、その成果を佐渡市トキ環境整備基金に寄付しました。16NJ参加スカウトを初め県連としても募金活動を行っており、NJ会場での成果も合わせ県庁へお届けする予定です。

派遣団情報

6月1・2日に各隊合同訓練を行い、6月23日壮行会を経て、7月7日に最終訓練を行います。7月31日にいよいよ出発です。派遣隊の隊長・副長および各種機能の実行部隊として奉仕される総勢24名の諸氏へ感謝とエールを送ります。無事のご帰還を祈ります。

第1隊長	牧島 宏之(新潟15団)	第2隊長	小林 裕人(長岡1団)
副長	関 隆之(加茂1団)	副長	今井 浩二(加茂1団)
副長	赤塚 尊子(豊栄2団)	副長	大澤 久弥(長岡1団)
副長	小柳 純子(加茂1団)	副長	鶴巻 悦子(加茂1団)

長期にわたる準備期間でのご奉仕に加え、本番でもご苦勞される派遣団本部の諸氏

団長	井上法英(長岡3団)	副団長	清水 修(新潟16団)
副団長	岡本 学(豊栄2団)	事務局	土田 高義(燕1団)

JMT(Jamboree Management Team)として運営チームのメンバーとして作業された方

JMT 中野 充(加茂1団)

JDT(Jamboree Delivery Team)として大会本部各部に分かれ、大会前から立案準備された諸氏

JDT	荒井 誠治(加茂1団)	JDT	小柳 真人(加茂1団)
JDT	伊藤 聡(新潟5団)	JDT	大関 ゆかり(新潟5団)

IST(International Service Team)として大会当日の運営サービスを担当する諸氏

IST	藤塚 大造(新潟7団)	IST	杉山剛(中条1団)
IST	高野 喜嗣(小千谷1団)	IST	小菅 晃太郎(新潟7団)
IST	田中 哲郎(白根1団)	IST	V辰口 智太(長岡1団)

V・・・VS

平成25年度第8回SFS委員会全体集会(総会)のお知らせ

今年度は上越地区担当となりました。具体的な内容は未定ですが、決定事項のみお知らせします。

皆様のカレンダーにご記入ください。

時期： 平成25年10月18日(金)～19日(土)

費用： 8000～10000円(予定)

場所： 上越地区内の観光地(に近いところ)(温泉)

詳細は、次の31号通信(9月発行予定)でお知らせします。



県連総会で議長を務められた、上越地区秋山氏を囲んで杉山(新潟16)金井(小千谷1)秋山(上越5)杉山(中条1)

とき

佐渡第2団静間団委員長から、とき最新情報をSFS通信26号(昨年7月)28号(昨年12月)の2回提供いただきました。今回もジャンボリー直前での第3回目をいただきました。各団で派遣隊員への情報提供をお願いします。なお、静間団委員長は今次県連総会で新潟連盟有効章を授与されました。感謝とともにお祝い申し上げます。

トキ関連最新情報とスカウト活動(Ⅲ)

佐渡第2団 団委員長 **静間 和憲**

まずトキ関連情報については、各紙で詳細が伝えられていましたが、繁殖期にあたり話題性も高く、トキたちは悲喜こもごもの幾つかのドラマを演じてくれました。殊に自然下でのヒナ誕生は喜ばしいニュースでした。ケージからのヒナの逃亡劇は残念な出来事でした。また近親交配でうまれたヒナを人工飼育するための捕獲や、巣立ち直前の成鳥に近い大きさのヒナが、親鳥が巣を離れたタイミングを狙ったカラスに襲われ、ヒナの必死の抵抗も虚しく野生下で初めて天敵の犠牲になると言う自然のおきてを示す事例が起きてしまいました。ほかにはトキの森公園内にトキを間近に見られる「トキふれあいプラザ」が開設され、僅か数cmの距離から観察できるようになり多くの来園者の人気の的となっています。

次に隊員たちのトキ関連活動について述べたいと思います。

まず、「トキ保護募金活動」については4月7日、第2団はサドトキマラソン大会開催に合わせて、会場のオンデコドームの前で、選手や関係者に呼びかけを行いました。当日は風雨が強く大変寒い日でしたが、隊員たちは声を張り上げ募金活動に励みました。多くの方々から心温まるご協力を賜り感謝の気持ちで一杯です。また会場内に出店していたブースの方々からも応援とご協力をいただき、ここに厚く御礼申し上げます。続いて4月28日には、佐渡1団・2団と16NJ参加代表者の応援を頂きながら、「佐渡芸能発表会」の会場周辺において募金活動を行いました。芸能発表会々場近辺ということで呼びかけが何かと制限され、隊員たちのテンションはやや低調のように思われました。なお県連清水理事さんからは、この日のために直接会場にお出でを頂きご指導を賜りましたことに深く感謝申し上げます。また県連事務局からは、募金PRの為に幟旗や募金箱等の用意を頂きお礼申し上げます。募金活動の成果については、5月10日隊員代表と佐渡1団の計良相談役さん、伊里団委員長さん、第2団上杉BS隊長と共に佐渡市へ贈呈して参りました。生憎、甲斐市長不在のため、副市長さんから感謝状やお礼の言葉を頂きました。

(5月14日新潟日報紙掲載)



芸能発表会場での募金活動
中央は16NJ特別委員会副委員長・
清水理事



オンデコドーム会場での募金活動



副市長にお届けする佐渡2団委員長静間氏
スカウト・計良相談役・伊里佐渡1団委員長

次に、トキの巣のレプリカづくりの体験活動を行いました。トキ保護センターの講師の方から指導を受けながら、実物大のレプリカを作ることになりました。はじめ、自然の中で巣を支えている木の枝に見合った太めの

枝を井形に組みました。その上に細めの40～50cm前後の枝を円形になるように1本ずつ置いていき、ある程度の厚みになったら細い枝を横から差し込むようにして巣の形を整えていきました。次に枝を固定するために接着剤をスプレーし、乾いたら中央部に枯れ草を敷き詰めて完了でした。細い枝はシバの類を用い、枯れ草はスズメノカタビラが好まれるそうです。人の手と違いトキたちは嘴だけでこの作業を行い、しばしば枝を落としたりして完成までに4～5ヶ月もかかり大変な作業になるとのことでした。隊員たちは目を輝かせながら作業に取り組み、約1時間余りで完成させました。またリーダーたちは卵のレプリカ作りに挑戦しました。材料には手許の桜材を用いることにしました。材料としては申し分ないと考えましたが、卵の形に削り上げるのが大変でした。ヤスリが良いとか、グラインダーにかけようとか、コンクリート面で擦るのが良いとか、作業方法や手順には意見百出でした。



トキの巣のレプリカ作り



トキの巣と卵のレプリカ

水中生物の調査とビオトープづくりの体験も行いました。6月22日、隊員たちは筆者所有の休耕田と傍らの用水路に棲息する水中生物をすくいあげ、種類や個体数を調査しました。今回はドジョウが最も多く、次にオタマジャクシ、カエル、ヒルやヤゴ、マツモムシなどを確認しました。メダカやタニシがいなかったことや、カワニナの外来種がすごい勢いで繁殖していることが残念でした。ビオトープづくりは、休耕田の一部を手で泥を盛り上げていき、約30平方メートルのものが出来上がりました。初めのうち隊員たちは鍬などの道具を用いていましたが、最後には直接手で泥を盛り上げ完成させました。



水中生物調査



ビオトープ作り



ビオトープ作り

以上、4月以降の主なトキ情報とサド第2団等のスカウト活動について報告いたします。最後に皆様方から戴いたご支援ご協力に厚く感謝申し上げます。(終)

広報

弥彦での広報講座の後、各団でそれぞれ工夫されている様子がうかがえます。その一部をご紹介します。紙面の都合で縮小しました。必要な方は県連HPからダウンロードしてください。また、新潟9団南雲団委員長から、奮闘記をいただきました。5頁に掲載させていただきました。

**子育てには
超有効ですよ!!**

入団案内 補足資料
で～す
 平成25年3月10日
 新潟市五十公野公園
 下越地区BP集会場にて

【連絡先】
 下越地区で現在活動中の団は3団です。その連絡先は下記の通りです。

新発田第1団	新発田市豊町3-2-5	高橋 剛	0254-22-6441
阿賀野第1団	阿賀野市岡山町13-16	関川 憲司	0250-62-3703
中条第1団	胎内市西条602-11	杉山 剛	0254-43-4879

上記の3市から離れてお住まいの方は、下記の県連盟事務局へお問い合わせください。
 県内には全部で32の団がありますので、お近くの団を紹介させていただきます。

ボーイスカウト新潟連盟事務局
 新潟市中央区下大川前通り4-2195
 電話:025-229-5454 10時～16時受付

【各団の活動内容】
 この五十公野公園のある新発田市で活動している新発田第一団のカブ隊(小5年以下)の活動計画をご覧ください。楽しい活動がテコ盛りです。
 阿賀野第1団、中条第1団も同様の計画でお待ちしています。

平成25年3月～平成25年9月					
月	日	行動計画	月	日	行動計画
3月	3日	隊集会	7月	7日	田の草抜き+ハイキング
	10日	BP祭(新発田)		21日	じゃがいも掘り
	24日	ハイキング		28日	キャンプ装備点検
4月	7日	ハイキング	7月31日～		夏季キャンプ(赤谷)
	14日	じゃがいもの苗植え	8月4日		
	21日	山菜そばを食べる(赤谷)	18日		クマ 上進キャンプ
5月	6日	チュウリップ摘み	9月 1日		カブラリー準備
	12日	田植え	8日		カブラリー
	19日	隊集会	28～29日		お別れキャンプ
6月	2日	田の草抜き+ハイキング			
	9日	ボーイラリー見学			
	22～23日	キャンプ(赤谷)			

下越地区BP祭で、日連パンフとともに配布

雨天でも実施しますので、雨具も準備ください。

対象・・・小学生(男女は問いません)
 持ち物はお水のみ。水筒又はペットボトル。
 体験入隊の目をつくりました。
 お気軽にご参加ください。お待ちしております。

五月十九日(日)
 九時 市役所駐車場 山側 集合
 住吉町にある畑で草刈りをした後、
 飯角集の中条一団で草刈り移動し、
 ゲームや昼食つくりで楽しみます。
 対象・・・小学生(男女は問いません)
 持ち物はお水のみ。水筒又はペットボトル。
 体験入隊の目をつくりました。
 お気軽にご参加ください。お待ちしております。

連絡先 杉山剛(西条) 四三三〇四八七九



子育てのお役に立ちたいと願っている
 ボーイスカウト中条1団です。
 体験入隊の目をつくりました。
 お気軽にご参加ください。お待ちしております。

春秋の2回 小学校に配布(中条1)

●「自然を体感してみませんか」

ボーイスカウト新潟第7団では、スカウト活動を理解していただくことを目的に年長から小学4年の子どもたち(男女不問)を対象とした「体験会」を随時開催しています。休日の一日、親子で自然を「感じ」、自然に「触れ」、その素晴らしさを体感してみませんか。

参加は無料です。ご家族揃っての参加を歓迎します。まずはご連絡を! 連絡先は ☎025-231-5890 林(18時以降)

コミュニティ紙(日報ルート)に掲載(新潟7)

ボーイスカウト新潟第7団
春の体験会へ行こう!
 ～スカウト活動をいっしょに体験しましょう～

◇第1回目
04月14日(日) 8時30分から
『鳥屋野スポーツ公園』
 “スカウトハイキング&連風揚げ”

◇第2回目
05月12日(日) 8時30分から
『佐潟公園周辺』
 “自然観察会&スカウト野球”

『対象は、年長～小学4年生の男女』
 (事前予約をお願いします。)
 お申込み・お問合せは、下記へお願いします。
 < 連絡先 >
 ・025-231-5890(林)
 ・025-260-6550(前川)

活動の詳細ブログ: <http://blogs.yahoo.co.jp/n7scout>

ボーイスカウトって? どんちんどうするのなの?
 まずは、体験してみよう!!
BS新潟7団 体験入隊会
 「スカウト体験、随時受付中」

◇第1回 体験入隊会・・・04月14日(日)
 参加対象: 幼稚園、保育園(年長)～小学校4年生(男女不問 保護者同伴)
 開催日: 平成25年04月14日(日)
 会場: 鳥屋野スポーツ公園
 集合: 8時25分 五十嵐小学校グラウンド (原則、ご自身の車でご参加下さい)
 解散: 15時00分 五十嵐小学校グラウンド
 持ち物: 雨具 寝袋(おにぎり) 水筒 動物 おやつ少々
 服装: 歩きやすい、活動しやすいものであれば自由
 参加費: 無料
 プログラム: 【連風を体験する、ボールゲームを楽しむ】
 【スポーツ公園内をハイキングしながらクイズ付き、自作した連風を空高く上げます。また、ボールをつかっつてのゲームを楽しみましょう。】

◇第2回 体験入隊会・・・05月12日(日)
 参加対象: 幼稚園、保育園(年長)～小学校4年生(男女不問 保護者同伴)
 開催日: 平成25年05月12日(日)
 会場: 佐潟公園周辺
 集合: 8時25分 五十嵐小学校グラウンド (原則、ご自身の車でご参加下さい)
 解散: 15時00分 五十嵐小学校グラウンド
 持ち物: 雨具 寝袋 水筒 動物 おやつ少々
 服装: 歩きやすい、活動しやすいものであれば自由
 参加費: 無料
 プログラム: 【佐潟公園周辺ハイキング】
 【佐潟公園周辺の自然を観察します。鳥の声、自然の声に耳を傾けましょう。また、スカウト野球を楽しみます。】

※ お申し込み、お問合わせ先 ※
 ◆Tel: 025-231-5890(林) ◆Tel/Fax: 025-260-6550(前川)

参加申込書

参加者名	年齢	級別	第一回	第二回

紹介者名 _____

支障なければ、ご記入下さい。(今後のご連絡に限り、使用致します)

住所 _____

連絡先 _____

指導者紹介

この活動の指導者は、専門の各種指導者訓練機関で研修を受け、指導者として様々な技能・知識を身につけた人が指導の中心にあたっています。指導者は、ボランティアで実施しており、職業を持ちながら、仕事の都合をつけて指導の時間を取っています。

以下にグループ別に指導者を紹介します。

グループ 小学校1年生～小学校2年生
指導者 近藤 康(いんどう やすき)
いつも明るく元気な指導者です。雨でも外で楽しむ遊びや、行事もアレンジすることが大好きです。

グループ 小学校3年生～小学校5年生
指導者 大澤 久美(おおさわ ひさみ)
この年代から児童の年齢の幅を狭めます。体を動かしたゲームで楽しく活動しよう、ハイキングも行きます。

グループ 小学校6年生～中学校3年生
指導者 小林 繁人(こばやし ひろひと)
この年代は、小中学生の自己探求期です。自分自身で何をやるか計画を立て、実行します。キャンプが大好きです。

グループ 高校1年生～高校3年生、18歳～24歳
指導者 津路 裕(つじゆ ゆう)
前世代は社会人になる前の練習者。活動を通して、後者のグループは社会に自立して活動をするのが目的です。目指すは、世界で活躍する社会人です。

保護者様へのお願い

かつて、自分たちが子供の頃、仲間同士で空気に燃え盛る活動をするのをやり、その中で感じた達成感や達成感の味を知る人はいくらもいません。また、自転車に乗って、道の狭い道を通り、川で遊ぶなどしたこともありません。今は、そのような活動がなくなってしまいました。

自然と向き合うことが少なくなってきた昨今、また、ボーイスカウト活動は学校でも、家でも、身近な存在でもなくなってしまいました。心躍るワクワクするような活動を日々提供しようと考えています。

ですが、ボーイスカウト活動は、「楽しい事」ではありません。活動で何をやるかは自分たち自身で決めます。決断してプロセスを提供することだと思っています。

刺激的な活動とは、誰かに教えてもらうのではなく、自分自身で決断し、結果を自分で決めることだと思っています。

是非、この活動に興味を持っていただき、一緒に活動を行い子供たちの日々の成長に少しでも役に立てられるようにしていきたいと思っています。

皆さんで、子供たちが立ち上がり社会人となるような活動にしたいと思いませんか？

団本部 新潟県長岡市田島3丁目5-11
月美寺
問い合わせ 佐藤 直樹 0256-33-1097
遠足 室 099-3020-1871

新潟ボーイラー



2010年4月新潟ボーイスカウト活動大会開催

**ボーイスカウト
長岡1団
新入隊員募集案内**

ようこそ長岡団へ!!

ボーイスカウトとは?

主に野外活動や奉仕活動を通して、自立した青少年を育てる、世界最大の社会教育活動のひとつです。内容は、長年活動の子が集まる小さいグループでの活動を通して、協調性や責任感を養います。

また、社会や自分に役立つような技能を自分で学んで学ぶことを活動を通して修得することになり、自分の能力に自信し、夢をより伸ばすように促します。



何歳から入隊出来ますか?

小学1年生から24歳程度までいつでも入隊出来ます。1925年9月より、團長の年長から入隊出来るようになります。

ボーイスカウトでは、各年代別に作ったグループに分かれて活動し、年齢に応じた活動を各グループごとに展開しているため、そのグループの上級生と一緒に活動することも出来ます。上のグループに属することにより、活動の幅が広がります。様々な能力の向上が図られます。

このようにボーイスカウト活動は、低学年から大人になるまで活動が継続することにより、責任ある社会人の育成を目的としています。



保護者ほどの程度手伝いますか?

各グループによって様々ですが、選出する時の指導者や団長の指導の補助など、必要に応じてお願いしています。活動へのお手伝いは、子供たちの活動を支援し、楽しむことが出来る良い機会であると共に、同じ年齢を持つ指導者同士の輪が広がる良い機会となっています。中には、活動に関わるうちに興味を持ち、指導者になった方もいらっしゃいます。



どんな活動をしているの?

土曜日や日曜日の休日に、野外活動を通して、自然の育みに参加したり、工作やゲーム、歌、演劇、ハイキングやキャンプ、手紙書きやロープワークなどを行い、友情や協調性の精神を育てます。

また、夏休みなどは長期キャンプを行います。

活動はいろいろな内容を実施しますが、これは、子供達が活動を通して身につけた自分の個性を伸ばし、責任をより伸ばせるようにするために配しているからです。

A4裏表カラー印刷 屏風折り (長岡1団)

プログラムの中に募集活動を

新潟第9团团委員長 南雲重孝

昨年、新潟連盟で主催した「スカウト募集のための広報活動」のセミナーに参加して以来、なんととしてもスカウトの数を増やさなくては9団が消滅してしまうという危機感を感じてしまいました。

今までは、当団も特に募集活動をしなくても「ロコミ」で入団者を確保することができました。その内、あっという間にスカウトが減少してしまいました。油断があったことも確かですが、スカウトの数が激減すれば「ロコミ」が通用しないことに気付かなかった事が大きな原因でした。

今回企画したプログラムは、まさにスカウトのプログラムの中に募集活動を入れたものです。先ずはこの企画をどうやって告知するかでした。ちょうど5月の連休の間、休暇が取れていましたので、私自身この日しかないと思い、地域の保育園、幼稚園、小学校25校を回りチラシを置いてもらうようお願いしました。皆さんに配っていただけないかとお話をしましたが、到底無理なお願いでしたので、途中から、趣旨を説明し日連のパンフレット5部とチラシ20枚を置かせてもらうこととしました。ところがある学園では、園長先生が対応していただき、「ここには年長さんが150人います。皆に配らなくて良いのですか」と言われ、パンフレットを県連に取りに行き、年長さん全員に配っていただけることが出来ました。私自身、とても感動を受けた次第です。

何人来てくれるか心配でした。当日までに2家族3人の申し込みがありました。残念ながら当日体調を崩され、1家族女子1人となりました。連絡をいただいた園児は150枚配布していただいた学園の子供たちでした。

現役リーダー、スカウト達もサバメシ(サバイバルご飯)づくりに熱心に挑戦し、カレーをつくり美味しくいただきました。ゲームをしたり、皆楽しい一日を過ごしました。

今回、私が感じたことは、団委員、リーダー、スカウトが一体になり、募集活動をプログラムの中に組み入れ、ロコミに頼らず、自ら何回も仕掛ける、決してあきらめない、そして必ずスカウトを増やすという覚悟が必要であることが分かりました。今年も、もう一回必ず企画し実行する覚悟です。皆様の参考になれば幸いです。

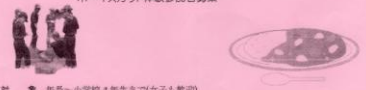
(サバメシの詳細説明資料もいただいています。ご希望の方は編集者(杉山(中条1))へご一報ください)

ボーイスカウト新潟第9団

サバイバル炊飯を体験しよう。

アルミ缶でご飯?・災害に備えよう。

ボーイスカウト体験参加者募集



対象 年長～小学校4年生まで(女子も歓迎)
※保護者の同伴をお願いいたします。

日時 平成25年5月26日(日) 午前10時～午後2時 小規模行

集合場所 西鹿野公園(お城の陣取り有難)

持ち物 飲み物・筆記用具・動きやすい服装

参加費 200円(昼食代)

※事前申込が必要です
申込・問合先
〒951-8511新潟第9団・小林
TEL&Fax 0256-76-2845
電話の場合は18～22時に
お願いします。
締め切り 5月19日(日)

参加申込書

名前	年齢	性別	学校名	学年	年
名前	年齢	性別	学校名	学年	年
名前	年齢	性別	学校名	学年	年
住所	TEL				

BSラリー

金澤副連盟長から今回の加茂山公園が第一回のBSラリーの会場であったことや、珠洲(14NJ)での先輩スカウトの頑張りを紹介し、激励されました。

参加スカウト総勢80人(参加団17団)が、手旗で始まり、班旗立て、キムス、歩測、ソング、クロスカントリー、障害突破、崖登り、橋渡り、綱渡りの計10か所のコーナーを周り日頃の訓練の成果を競いました。優勝は、新潟5団・黒崎1団の混成班。②小千谷1団・十日町1団の混成ぞう班③新潟15団コンドル班④長岡1団タイガー班⑤新潟15団バッファロー班



優勝した新潟15団・黒崎1団混成シロクマ班

16NJ壮行会

BSラリー終了後、開催されました。金澤副連盟長から派遣団旗を授与されました。澤野修県議会議員からもはなむけの言葉を頂きました。井上理事長は派遣団長として全員無事に帰ってくることを力強く約束し、最後に恒例となった新潟派遣団の歌で締めました。



派遣団を背に決意表明をされる派遣団長(右端)

SFS委員会募集活動

BSラリーに合わせて募集活動を行いました。星(長岡1)小林(長岡1)鈴木(長岡3)藤塚(新潟7)杉山(新潟16)杉山(中条1)の6名が参加しました。残念ながら、お客は少なく、実施方法を検討する必要があります。

加茂山公園は、青海神社の神苑で、地域に親しまれている様子で、幼子連れ若夫婦の姿が多く見られ、日本の信仰生活っていいものだとの思いを持ちました。



撤収前のブースの前で、お疲れ様！！